

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所独自の運営理念を作り、会議等で、話し合う時、昌頭に理念を復唱し実践に向けて取り組んでいる。	職員一人一人が理念を理解し、日常のケアの中で理念を具体化して、職員に伝えていく。	職員全員が理念を理解し、できることを具体化してケアを実践していく。	1ヶ月
2	3	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催しています。それらの意見をサービスに活かしている。	会議で様々な意見が出て、サービスの向上に活かしているが、会議がまんねりかする可能性があるため、もう少し、地域に密着していく。	会議がまんねりか、しないように、ゲスト(消防職員・地元の駐在さん 等)の方に声を掛け、会議に参加してもらうようお願いをする。	1ヶ月
3	9	利用者の食事やお茶の時間に本人の希望や意見を聞きだし、ケース記録に書き留める。	利用者の思いや希望をよく知り、その事を職員皆が把握できる様にまとめておく。	利用者のアセスメントを、職員の誰が見ても、生活暦等が一目でわかるようにする。その中から本人のできる事、好きな事等をケアにつなげていく。	1ヶ月
4	7	会議等で、意見交換しやすい関係ができているが、個別に意見を聞く機会が少ないので、意見や提案を聞く機会をもつ。	個別に意見・提案を話せる体制を作る。	職員一人一人とコミュニケーションを図り本人の意見や提案を聞き出していく。	1ヶ月
5	10	モニタリングは行っているが、計画の変化があまり無いので、個別ケアに向けて話し合う。	利用者のケース担当者を決める。月に一度は、計画・実践・評価・見直しを行う。	ケース担当者を決め、より細やかなケアを実践し、他の職員と意見を出し合える体制をつくる。	1ヶ月
6	15	食事介助以外の職員は、テーブルの周りに立って食事を見守っているが、利用者さんの隣に座り見守りをする。	利用者さんと一緒に食事をするようにする。	職員も利用者さんと一緒に、食事をするようにする。食べない職員もテーブルと一緒に座り視線を合わせて食事を見守る。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。